

序

叛逆への招待

八木健彦

赤軍派から赤軍へ

章

逆光の思想

佐野茂樹

蜂起に関する覚え書



特集 ■ 革命の時代への提言

蜂起に関する覚え書

8

△赤軍派▽から赤軍へ

佐野茂樹

19

全共闘とパルチザン

暉峻

48

インドシナ革命戦争の新局面
と転換点

佐賀礼二

59

釜ヶ崎狂頭会議

西嶋彰

65

私達と△私達▽についてのノオト

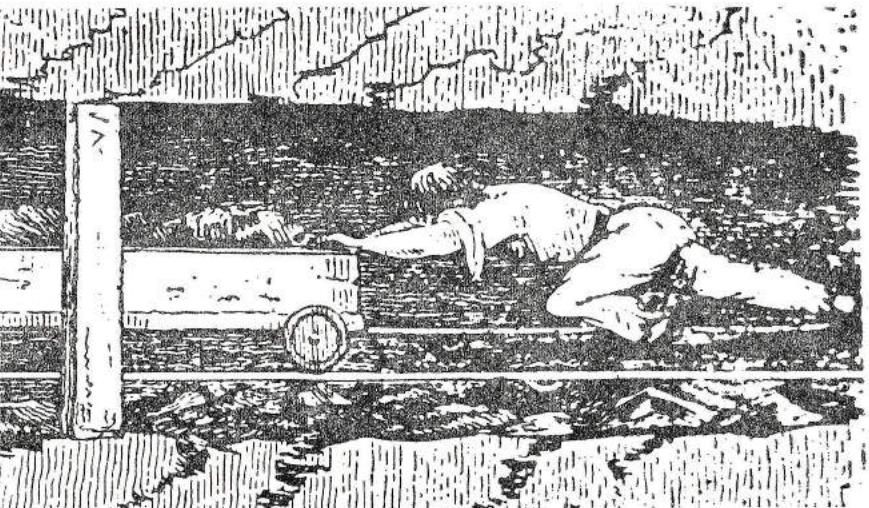
八木俊樹

73

後退の論理

中谷寛章

87



女街考

池田浩士

革命的サンディカリズム試論

大塚雅也

文学と永久革命

加藤敏雄

革命的主体を律するもの

大塚雅也

ラズルーカ(誤れ)抄 H・ツ・ヴュターニワ

訳・工藤正広

100

ロマンの復活

稻垣真美

短篇「顔」

奥野路介

時評

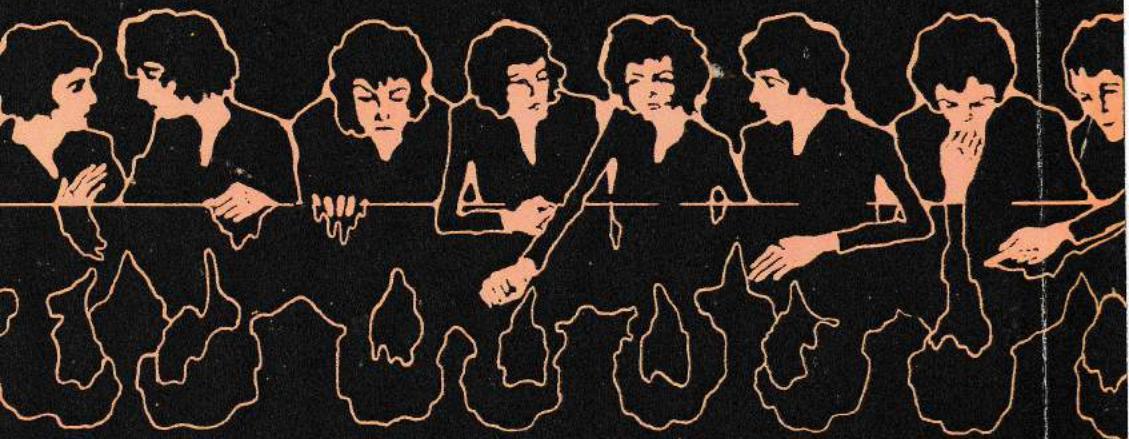
144

140

136

序

章



暴力考

滝田修

世界革命運動の現段階

八木健彦

N・L・Aの組織的諸問題

C・マリゲラ

ブラック・ナショナリズム

G・ブレイトマン

過渡期世界における赤軍

上野勝輝

軍事ノート(1)

小林ちよじ

公害元年のハイボール

西嶋彰

日本の革命者、北一輝

暉峻中

日本文化論へのノオト

石川九楊

島尾敏雄私論

村上武夫

ローマの別荘

奥野路介

特集 ■ 新たな暴力の創造を

暴 力 考 滝 田 修

世界革命運動の現段階 八木健彦 22 6

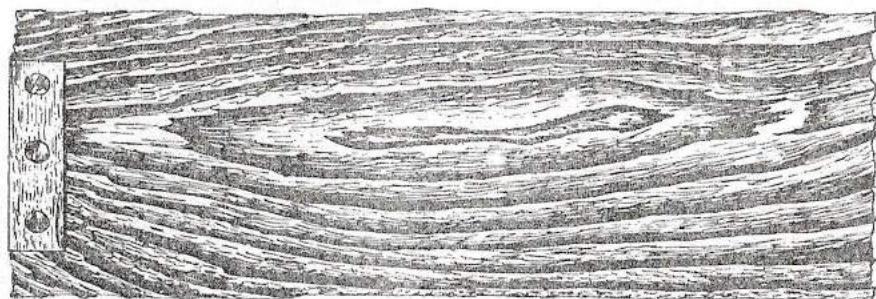
軍事ノート(I) 小林ちよじ 53

NLAの組織的諸問題 (訳) 大塚雅也 47

過渡期世界における赤軍 上野勝輝 61

ブラック・ナショナリズム (G.ブレイトマン)
(訳) 吉守昭 72

ルボ・夏一水俣 野中淳 83



公害元年のハイボール 西嶋彰 93

日本の革命者北一輝 暉峻

日本文化論へのノオト 石川九楊 103

島尾敏雄私論

創作「ローマの別荘」 奥野路介 121

時評書評

137

149

121

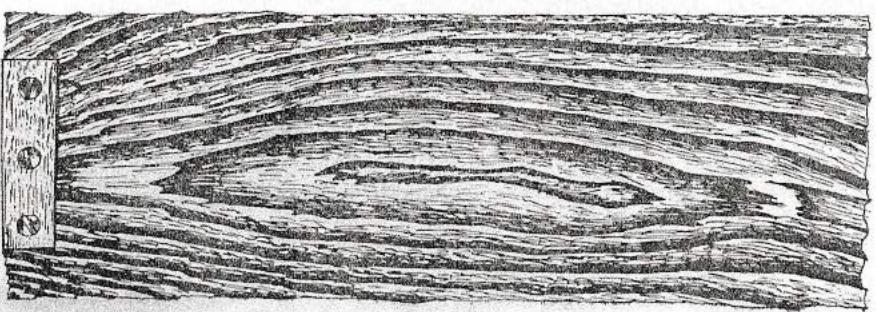
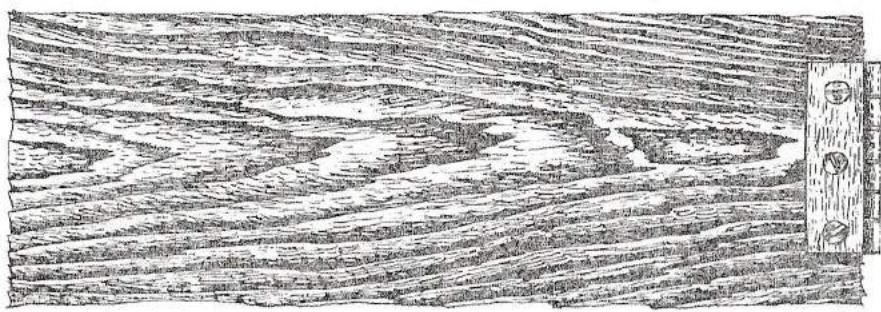
115

103

93

表紙 / 近藤都英

目次 / イラスト / 吉岡康正・石川九楊



時評 情況への断章

特集 革命軍の構築にむけて！

起訴状——赤軍派議長・塩見孝也—— 18

中国革命と革命の哲学 藤本進治 22

反スターリニズムの主張と現代革命 八木沢二郎 43

朝鮮半島のゲリラ戦士、金智会 許元沢 52

秩父蜂起ノート 山崎 敦 71

軍事ノート(2) 小林ちよじ

■ **〈未完〉の革命史Ⅰ**

〈未完〉の革命史への導入

大塚雅也
トロッキ
菊池慎太郎

「コミューンの教訓」

(訳) トロッキ
菊池慎太郎
K・メシュカット
(訳) 滝沢 迪子

ロシア革命家のコミューン解釈

狭山差別裁判における弁護団の論理 師岡佑行

師岡佑行

松下武雄論ノオト(2) 中谷寛章

中谷寛章

デジヤ・ヴューカント創作 武田頼洋

武田頼洋

グラビア 土方巽燔犠大踏鑑暗黒舞踏 二井章善

二井章善

序章 5

日本一人

武装闘争と建党・建軍の諸問題……八木健彦
アラブより想いをこめて……重信房子

戦前米英の外交政策

復讐

西野

大東亜戦争	支那事変	ソ連	米英	西野	日本一人	序章
支那事変	ソ連	西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変
ソ連	西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連
西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野
日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野	日本一人
序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野	日本一人	日本一人
大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野	日本一人	序章	日本一人
支那事変	ソ連	西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変
ソ連	西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連
西野	日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野
日本一人	序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野	日本一人
序章	大東亜戦争	支那事変	ソ連	西野	日本一人	日本一人

北洋支那支店

時評 祝祭の合図は届いているか

特集 アジア革命と世界赤軍

武装闘争と建党・建軍の諸問題

八木健彦

ベトナム労働党万才!

福田隆之

帝国主義の人間の変革

倉地一行

南朝鮮のゲリラ戦士・林宗会

許元沢

■帝国主義論の再構成へ

反スターリニズムの改良主義への転落

榎原均

経済学批判と宇野経済学

深谷悟

帝国主義論についての整理ノート

長沢喬

133 116 102

アラブより想いをこめて 重信房子

「三里塚闘争」ヤジ馬観戦記

安井健志

ある闘いの位置

太田静夫

流民型労働運動論

寺沢正

「ラック・パンサー(黒豹党)」発刊アピール

吉田富夫

「無物」との戦い——魯迅

160 160

無頼児工セーニンへの旅

工藤正広

グラビア 三里塚

北井一夫

145 145

186 186

177 177

174 174

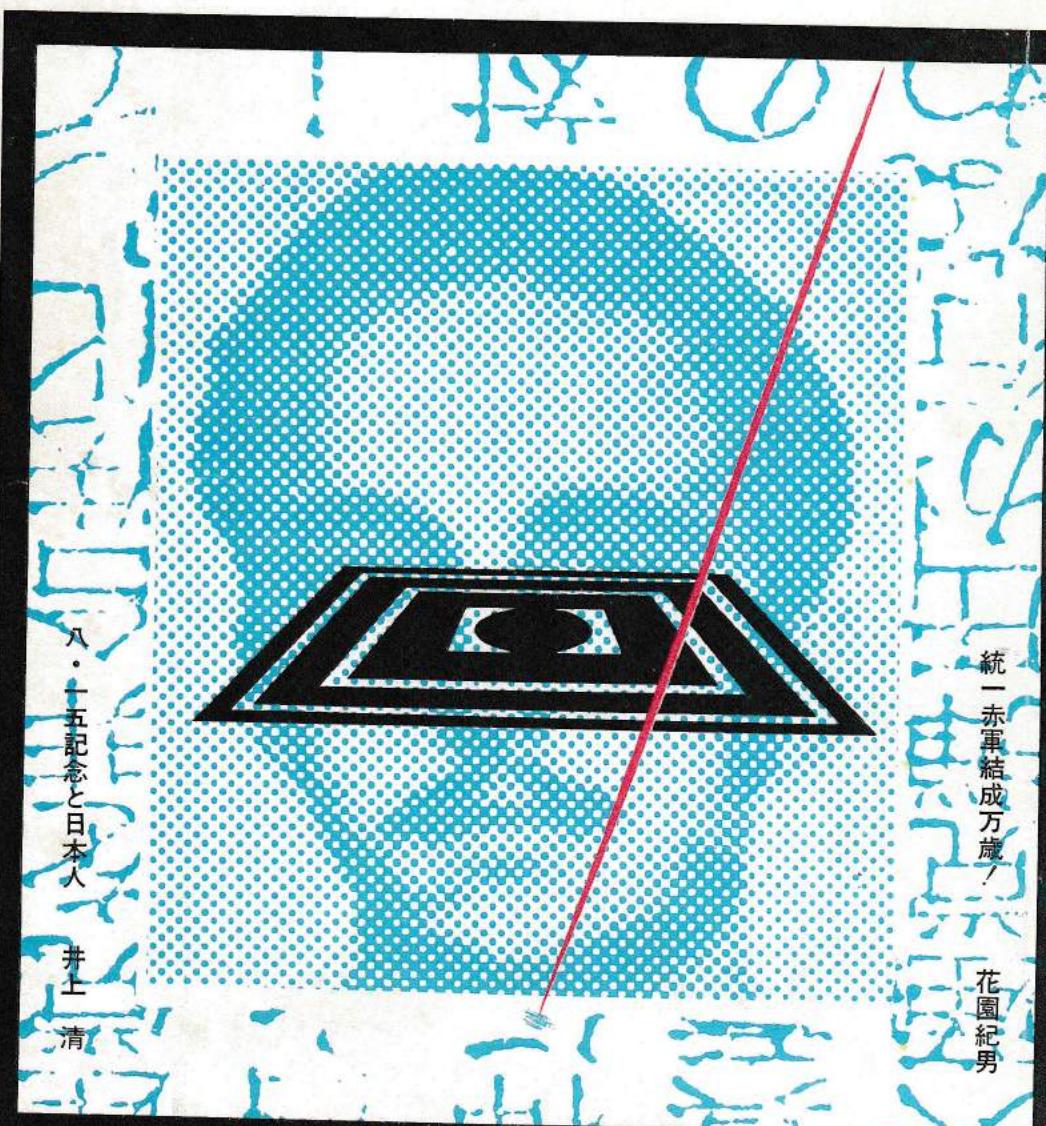
168 168

160 160

153 153

61 61

序章 | 6



八・一五記念と日本人

井上

清

統一赤軍結成万歳！

花園紀男

特集——武装闘争の時代と統一赤軍

花園紀男 8

赤軍派と革命左派の合流にあたり論争点を整理し、更なる前進に提言する

革命党——革命軍と革命戦争の大道へ

八木健彦 35

大菩薩被告団を戦線に奪還しよう

雑誌紹介 黒豹（プラック・パンサー）

134

71

八・一五記念と日本

井上 清 136

八・一五敗戦はアメリカだけでなく、アジア民族解放闘争に負けたのだ

抑圧民族と被抑圧民族の心

星野芳郎 146

内なる帝國主義を告発する

特集——パレスチナの人民解放戦争

パレスチナ人民解放戦線とわれわれ 秋田五郎 85

革命と労働者

PFLP情報局 92

グラビア 戰闘・訓練・生活 (提供 日本アラブ文化協会) 92

民族・国民・帰属

宮城島明 99

沖縄解放闘争の中から

「労働者の根源的暴力」考

京大労働者戦闘団 110

地域管理社会と精神医療

野波行夫 118

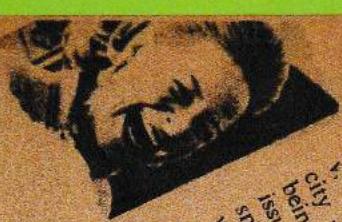
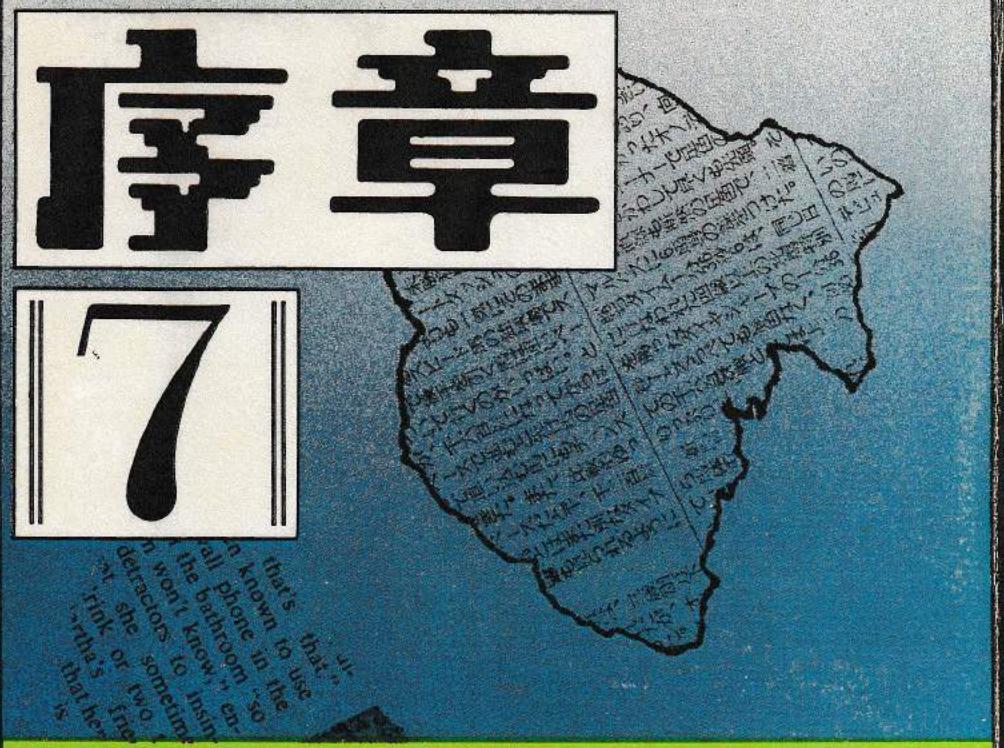
南朝鮮のゲリラ戦士群像其の一

許 元沢 161

農村ゲリラの戦闘と生活を筆者自身の体験に基いて描いた

唐享

7



... issues are "scored" in its own state, being joined within a certain state. priests and small high secret societies, with its emonies, and passwords. Yet none,

☆革命戦争派の綱領問題 塩見孝也
☆確実に反撃を開始しよう 滝田 修

特集 ■ **革命戦争の党**への過渡的綱領

8

革命戦争派の綱領問題 塩見孝也

...

革命戦争の戦略問題によせて 林 慶照

...

プロレタリア革命軍事論 藏田計成

...

蜂起の前提条件

特集 ■ 弹圧に反撃を！

...

確実に反撃を開始しよう 滝田 修

...

弾圧に反撃するアピールとアンケート ファシズムに反対するアピール
階級的報復を跳ね返し団結せよ！前進せよ！

川本記者救対報告 吉岡カメラマン救対報告

101

軍事ノート(3)

小林ちよじ

日本遊撃戦争から人民の軍隊創出に向けて 寺沢 正
戦士としての旅立ち覚え書き 針木長次郎

尖兵の任務 実体なき總体・個別闘争と環 藤本進治

...

ヤングロード党の組織と活動 桐生 ゆみ

日韓・帝国主義的医療業務提携紛糾によせて 野波 行夫

沖繩を考える朝鮮人の目 具 徳煥

続・女銜考 —または×木×三頃— 池田 浩士

南朝鮮ゲリラ戦士群像其の二 許 元沢

...

奥野路介

...

遠い蟻たちの輪舞

...

グラビア

状況記号「吊鎖」

表紙／飯田 石川 九 楊

俊

93

194

206

185

171

159

114

126

133

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

87

91

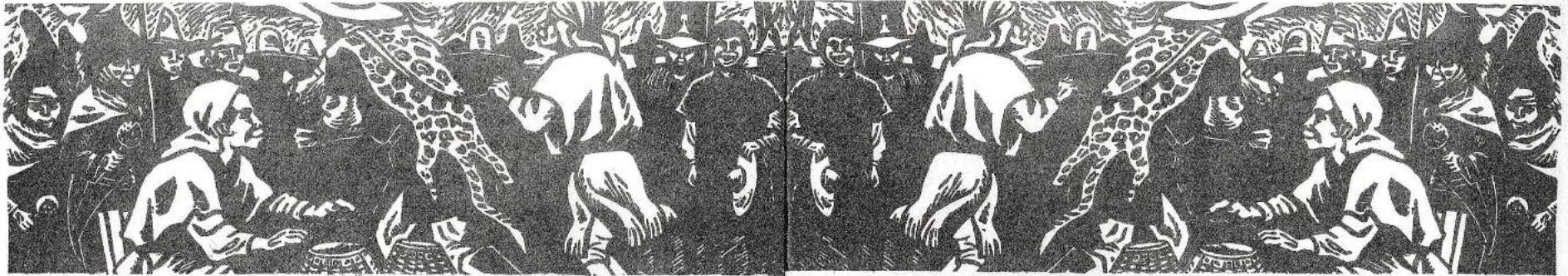
87

91

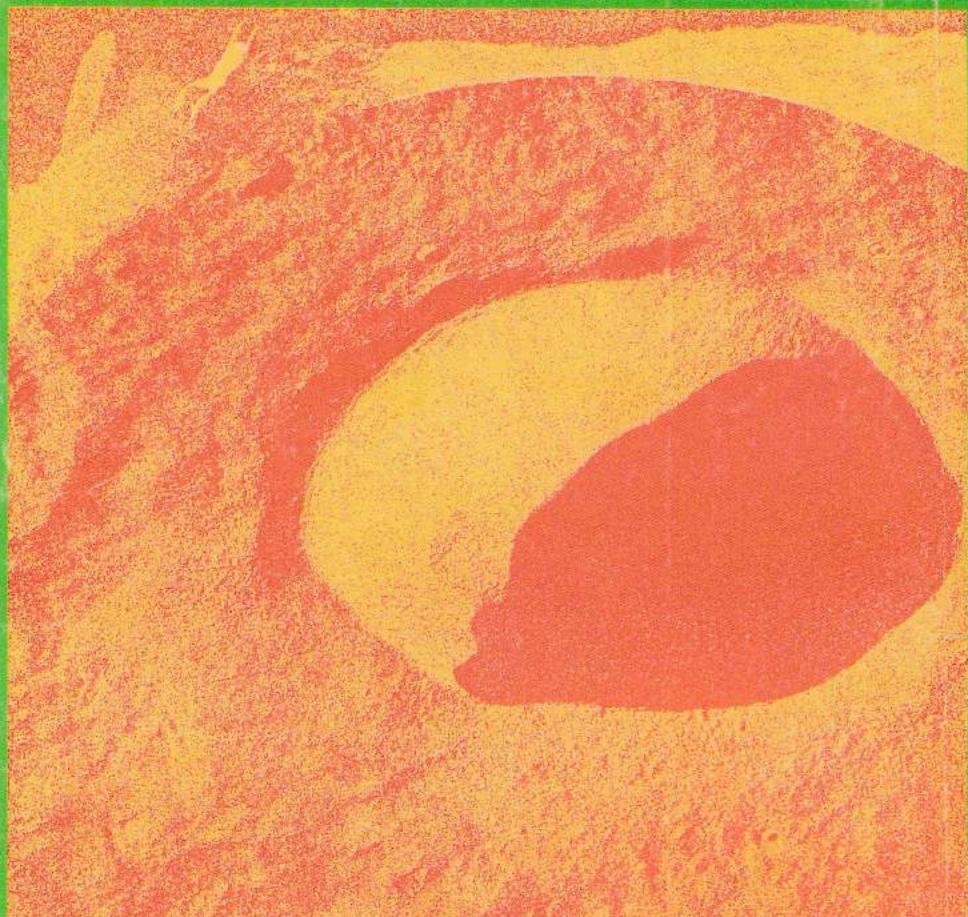
87

91

87



序章 | 8



公開論争 革命戦争派再生のために
—〈連合赤軍事件〉をどう総括するか

時評

公開論争 革命戦争派再生のために 「連合赤軍事件」をどう総括するか

党・軍と人民の「回路」を確立せよ 編集部

日本共産主義運動前史から本史へ 佐野茂樹

上野勝輝 革命の暗黒を吹き飛ばし反動の嵐に勝ち抜け

八木健彦 赤い火を燃やそう 16

上原敦男 長征に出発せよ 63

渡辺正則 血の跡を踏んで前進せよ 76

雪野建作 戰闘集団性を止揚し、革命党形成へ 7

川島 宏 「連合赤軍肃清事件」の根柢的総括に向けて 91

「連合赤軍肃清事件」に対して眞の共産主義者の取るべき態度とは何か

レーニン研究会 173

PFLP通信(1)アラブ情勢の新段階とわれわれの闘い (訳・中 怜司)

精神医療体制批判 (*L'Idiot international*) (訳・石井奈穂)

刑法改「正」を粉碎せよ

「尖閣列島問題」に注目を

現地緊急レポート

宇田清治

妻崎 研

集中弾圧に対するわれわれの反撃(アンケート回答)

「過激派」と「ルン・プロ」の結束を 大美万吉

人民大衆との結合—政治工作について 羽石博史

中国革命路線の世界性 藤本進治

広州・上海蜂起 ノイベルグ著・軍事論研究会訳

書評

202

公開質問状・日本共産党御中

表紙／飯田 俊

244

286

274

259

267

246

246

231

209

219

237

173

91

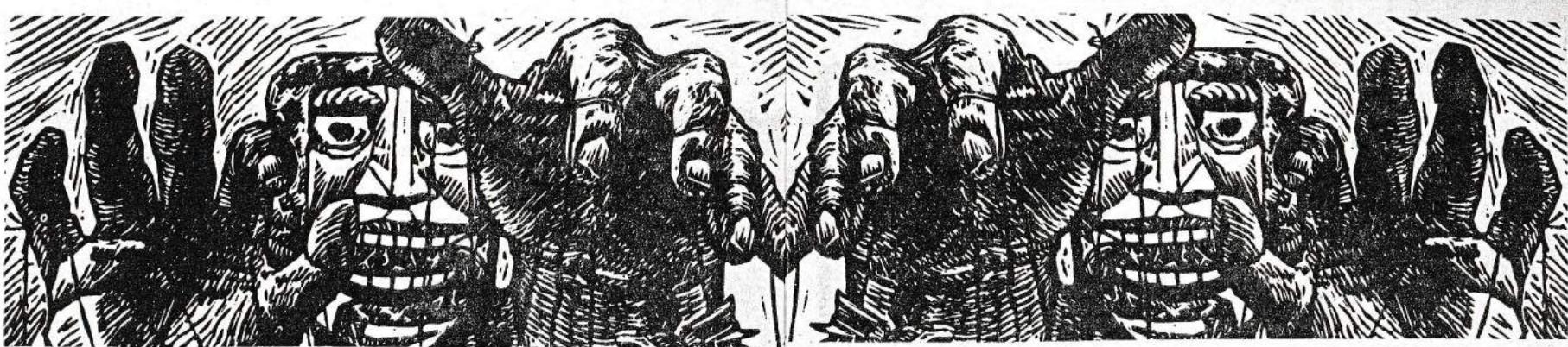
76

34

12

8

6



享章9

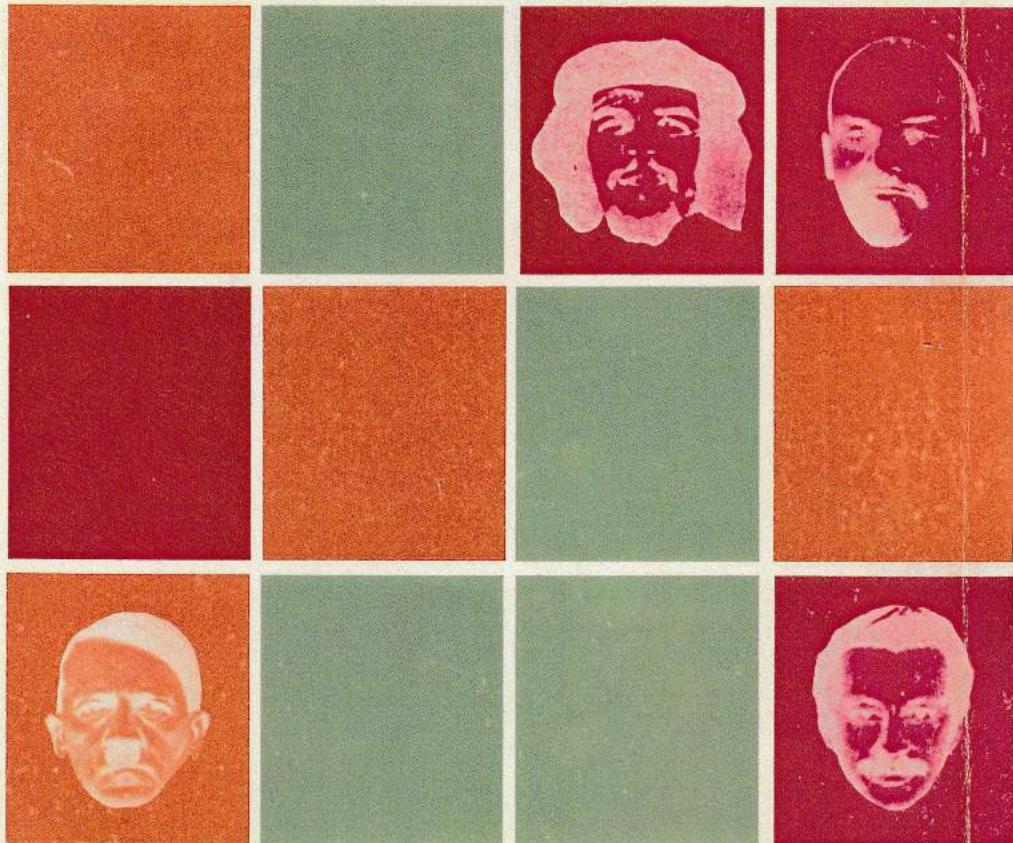


★三戦士追悼特集

——「ディア・ヤシン」作戦と世界革命

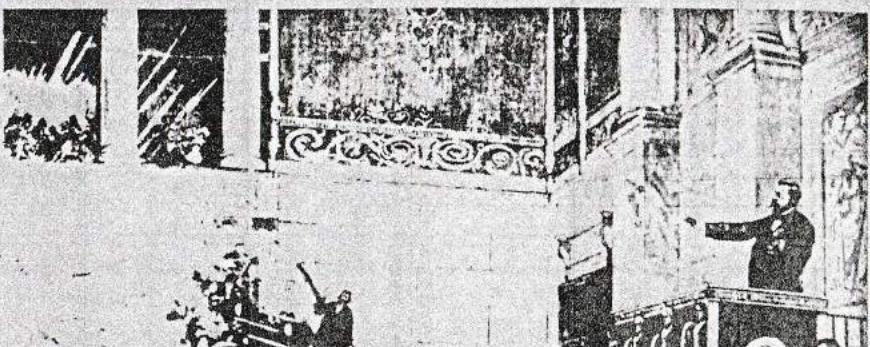
序章10

〈座談会〉表現・知識人・ファシズム 池田浩士 吉田富夫 他 パレスチナ人民の文化抵抗闘争 G.カナファ
ニ 赤い家（ソ連における保安処分）上 G.M.シマノフ
『総監公舎爆破未遂事件』の謀略を撃つ 福富弘美 他



パレスチナ人民の文化抵抗闘争

G・カナファアニ



日本と日本人を告発する 宋斗会
「パリ」西独のアラブ人——ミュンヘン以後 南濯
共産主義者と民族問題 寺沢正志
革命戦争派の当面する諸問題 服部正志
革命軍としてのゲリラ(序) 芳澤賢
プロレタリア前衛党の建設へ 高原浩之

特別インタビュー 第二世界の独立と解放
——仏領マルチニック島における闘争 G・アンティオープ

虚構を完全爆破せよ 福富弘美
七〇年代典型冤罪弾圧に対する闘い 山際永三

或る犬の物語 池田浩士
一一〇四ワンちゃん大行進 西嶋彰
池田浩士・吉田富夫

同学会再建の全国的意義 上野勝輝
池田浩士・吉田富夫

（座談会）表現・知識人・ファシズム
特集／ファシズム化の過程

ファシズムの本質と役割
（共同討論への資料）
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

赤い家の思い出
（ソ連における保安処分）上 G・M・シマノフ
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

草刈場の純粹工藤正広
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

映画「能勢闘争」制作に向けて…… (161)
（書評）初期ルカーチ研究（池田浩士著）『フランスファシズムの生成』(D・ウォルフ著) (233)

土曜会アピール

戦争と革命（I）——レーニンの政治理想 桐野隆志
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

社会主義と労働運動の結合についてのノート 川原明
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

「歴史と階級意識」の批判（上）榎原均
池田浩士・吉田富夫
奥野路介・編集部
K・コスヴァイラー/R・キーナンル/R・オーピツツ

序章11

〈特集〉世界の武装革命戦線 山崎カヲル(ラテン・アメリカ)／北沢洋子(アイルランド)／北米、フィリピン、イタリア、その他 〈座談会〉精神障害・犯罪・市民社会 ●日本における革命の現在的地平(上) 千葉正建 ●アイヌ共和国と台湾独立戦線 太田竜 ●本格的武闘に備える土台 田村新二 『歴史と階級意識』の批判(下) 櫻原均



特集／世界の武装革命戦線

ラテン・アメリカにおける武装闘争の現状 山崎カヲル
 アイルランド共和国軍(IRA)——その起源から今まで 北沢洋子
 アイルランド反帝民族解放闘争の歴史と現状
 アメリックカ帝国の崩壊に向けて 村上武夫
 フィリピン社会とその革命戦略の諸問題 アマド・ゲレロ
 「便り」 「熱い秋」以降 桐生悠史

西独・スペイン・パレスチナ ポ領アフリカ植民地
 誓言集——戦いのブレリュード……
 〔書評〕『武装蜂起』ノイベルク著、クーロン著
 〔革命〕モゼレフスキイ、クーロン著

地下道 寝屋川署襲撃には道理はある：吉川公平／よど号ハイジャック闘争「被告」

ベトナム和平後の国際共産主義運動の特徴 上野勝輝
 日本における革命の現在的地平(上) 千葉正健

109 105



本格的武闘に備える土台 田村新二
 アイヌ共和国と台湾独立戦線 太田竜
連合赤軍問題の総括とプロレタリアートの前衛党の建設——綱領の骨格について
 再び武闘清算路線に断固反対する 高原浩之
 遊撃戦争のイロハについて

125 133 151 182

ルポ 血の日曜日一周忌に参加して 写楽ひとし

91

京都のエンツエンスペルガー 好村富士彦
 資本主義と共産主義(上)『共産主義運動誌』
 左翼社会革命党的形成(上)訳・服部光司
 戰争と革命(II)——レーニンの政治理想 O.H.ラドキー
 『歴史と階級意識』の批判(下)桐野隆志
 榎原均

268 268 291 278 205

〔座談会〕精神障害・犯罪・市民社会

——保安処分問題、精神病理学と法学の間で

グラヴィア／アイルランド——闘いのバリケード

232

327

302

291

278

268

125

10

23

34

41

60

74

41

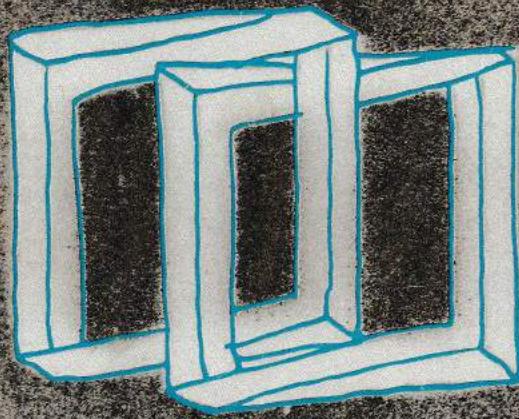
34

23

10

序章12

特集／日本共産党への死刑宣告 講座派・日本共産党と
70年代新左翼一浅田光輝 反スター・リニズム運動の総括
—「赤報」編集委 日共党内闘争史一駒井三郎その他



公開質問状と回答一川島豪、渡辺正則・塩見孝也 コミ
ューン型戦士の今日的蘇生一田村新二 アラブ赤軍の宣
言・アピールその他、宇井純、藤本進治、太田竜その他

時評／日本「共産」党への弔辞
グラヴィア／真夏の夜の夢

特集／日本共産党への死刑宣告

時評／日本「共産」党への弔辞
グラヴィア／真夏の夜の夢

日本共産党党内闘争史 その社会帝国主義への転落の根柢

浅田光輝 駒井三郎

反スターリニズム運動の総括の視点

43 10

前衛党建設の勝利に向けて 水谷洋一

137 10

日本共産党と民族問題 山本恭道

163 10

座談会 戦前日本共産党の総括 関崎山三津夫

184 10

公開質問状—赤軍派 塩見同志へ 川島渡辺正則

233 10

論争 川島・渡辺両氏の公開質問にこたえる 塩見孝也

297 10

日本における革命の現在的地位(下) 千葉正健

221 10

コミュニケーション型戦士の今日的蘇生 田村新二

209 10

地下水管 通信報告—よど号ハイ・ジャック事件に対する抗議声明／樺太抑留者に支援をツ

323 10

公害問題—中国と日本の間で宇井純

255 10

日中交回復の意味するもの 藤本進治

242 10

赤い家の思い出 (ソ連における保安処分) G.M.シマノフ

326 10

幼年・王国 自殺史としてのロシア詩史(3) 太田正広

337 10

皇道維新派批判 (第一回) 太田竜

200 10

日航機ハイ・ジャック闘争

アラブ赤軍

宣言・アピール

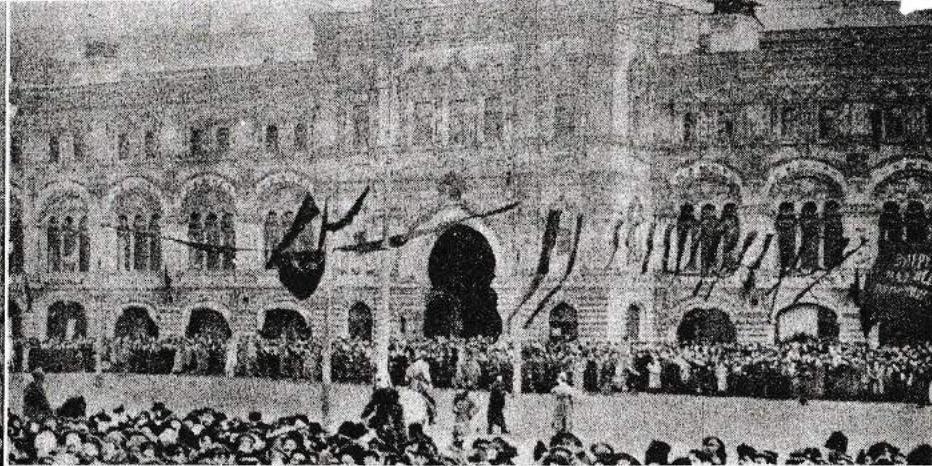
301 10

日航機四〇便ハイ・ジャック闘争万才!

日本赤軍→VZ 58

日航機ハイ・ジャック闘争とわれわれ

芹沢洋



序章13

特 集

民族問題の原基形態

プロレタリア国際主義の復権のために/民族問題の戦略・戦術/バングラディシュとは何か/チリにおける革命と反革命(山崎カナル)

グラビア／バングラデイシユ解放（？）
時評／革命の文體——民族論・断片
6 106

特集／民族問題の原基形態

- | | | | |
|--------------------------------------|-------|---|-------|
| プロレタリア国際主義の復権のために
赤色工作者——タン・マラカ私考 | 駒井三郎 | ： | ： |
| 民族問題の戦略・戦術
——その歴史的構造 | 高部久人 | ： | 33 22 |
| タムボフ県農民叛乱報告書 | 蒼野和人 | ： | ： |
| アイルランドの民族問題
民族問題の現在的地位 | 山崎カヲル | ： | ： |
| 樺太抑留朝鮮人問題
——その軍事的諸契機について | 写楽ひとし | ： | ： |
| チリにおける革命と反革命
——バングラデイシユ解説 | 三輪実 | ： | ： |
| （放？）一年後の地點で | 山崎カヲル | ： | ： |

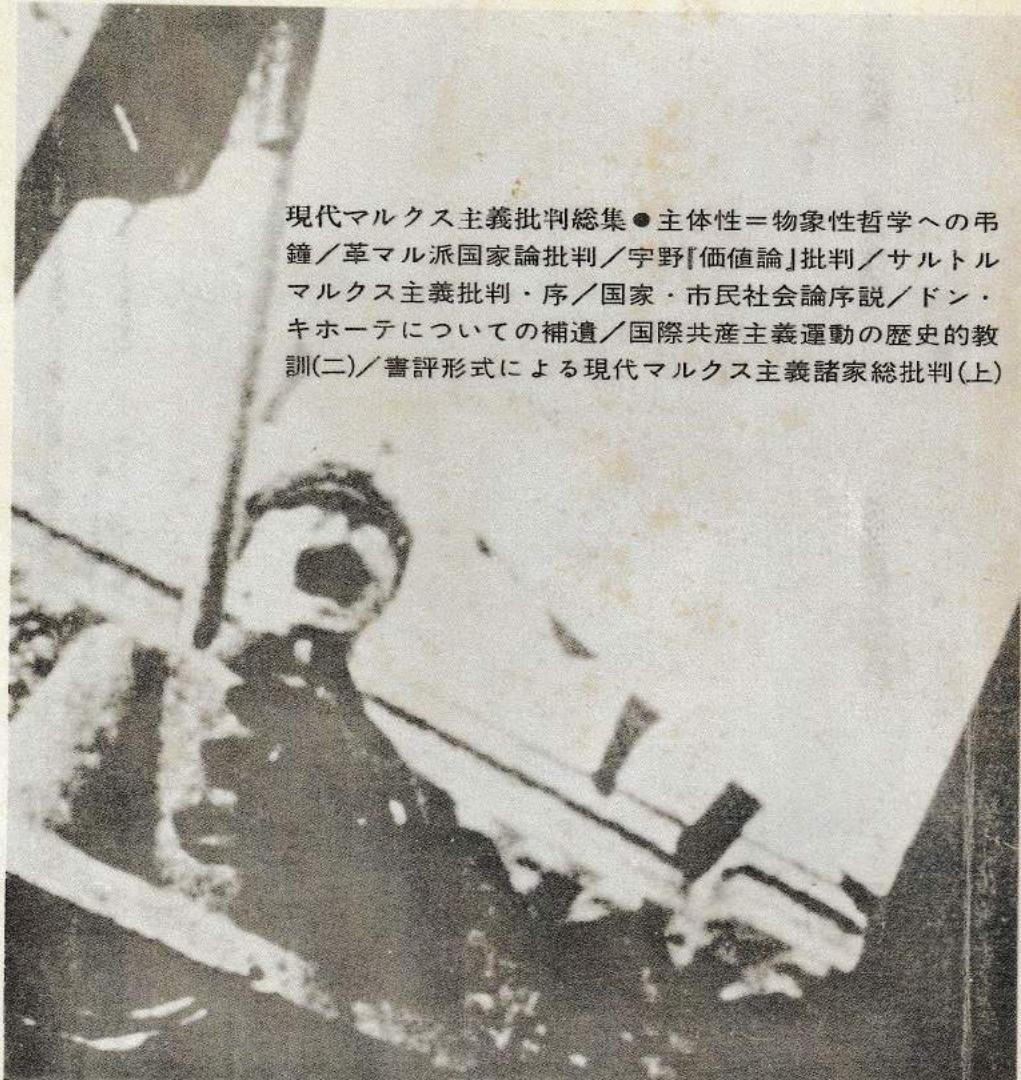
——その軍事的諸契機について——

連載(一)		国際共産主義運動の歴史的教訓		榎原均	
プロレタリア文化大革命の原像(一)	渡辺保男	渡川島正則豪	：	：	：
〔公論〕赤軍派塩見同志への再批判	：	：	：	：	：
連合赤軍問題の総括 ——その前衛党の問題	桐野隆志	高原浩之	：	：	：
戦争と革命(二)——レーニンの政治理想	山野新	：	：	：	：
マッセン・ストライキ論争	：	：	：	：	：
左翼社会革命党の形成(下)	：	：	：	：	：
地下水道	：	：	：	：	：
レバノン内戦日記／PFLP日本医療隊／マルチニック民族解放戸子／帝国主義の前線基地・イスラエルシオニストの軍事力	：	：	：	：	：
マフノフ叛乱軍史	：	：	：	：	：
「スヘインの短い夏」	：	：	：	：	：
労働組合運動史研究会誌	：	：	：	：	：
信房子／帝国主義の前線基地・イスラエルシオニストの軍事力	：	：	：	：	：
：	：	：	：	：	：
174	276	261	245	211	192
160	135	：	：	：	：

節 章 春季号

通卷 14 号

現代マルクス主義批判総集・主体性＝物象性哲学への弔鐘／革マル派国家論批判／宇野『価値論』批判／サルトル
マルクス主義批判・序／国家・市民社会論序説／ドン・
キホーテについての補遺／国際共産主義運動の歴史的教訓(二)／書評形式による現代マルクス主義諸家総批判(上)



現代マルクス

主体性＝物象性哲学への弔鐘 神谷 聰

革マル派國家論批判——黒田寛一『社會觀の探求』批判

駒井三郎 31

稀少性とマルクス主義——サルトル・マルクス主義批判・序

江栗凡 45

宇野『価値論』批判——『資本論』第一章のブルジョア的解釈を暴露す

179

過渡期の政治経済学について(上)

144

国家・市民社会論序説 桐野隆志

129

ドン・キホーテについての補遺 池田浩士

123

国際共産主義運動の歴史的教訓(二) 榎原均

116

書評形式による現代マルクス主義諸家総批判

257



公開論争

連赤敗北における山岳根拠地路線の明確化を塩見孝也

赤軍派塩見氏への反論坂口弘也 277

革左(神)坂口君を反論する塩見孝也 275

日共(革左)川島・渡辺両氏を再批判する塩見孝也 271

地下水道

シンガポール・クウェート開港についてのPFLP・アラブ赤軍の声明・コミニケ、樺太抑留朝鮮人帰還のための請求、獄中の戦士からのアピール

チリにおける革命と反革命(中)

山崎カヲル 222

民族問題の戦略・戦術 高部久人

235

皇道維新派批判

(第五回)——日蓮派皇道主義

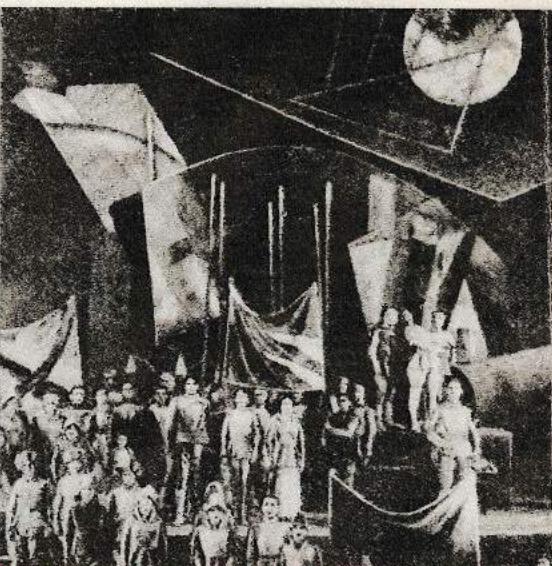
太田竜 239

国内大激動急迫下の建党路線 田村新二

249

共产党 15号

(夏・秋季合併号)



現代マルクス主義批判総集(II)・宇野「価値論」批判／資本主義批判と組織問題／国際共産主義運動の歴史的教訓／書評形式による現代マルクス主義諸家批判(下)

現代マルクス主義批判総集II

マルクス主義の現実的諸問題

宇野『価値論』批判

〔資本論第一章のブルジョア的解釈を暴露す
赤報編集委員会 訳・解説 山崎カヲル〕

過渡期の政治経済学について(下)

共産主義＝革命の今日的地位相中

資本主義批判と組織問題について

国際共産主義運動の歴史的教訓(三)

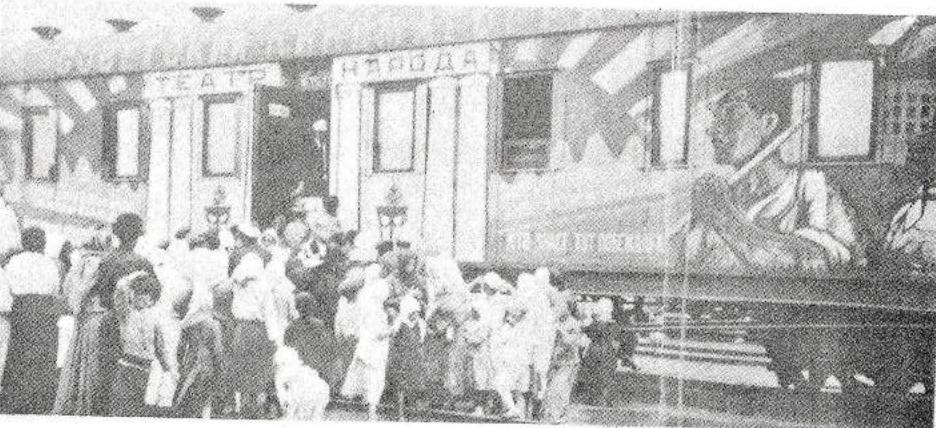
榎原均

高原浩之

中怜司

書評形式による現代マルクス主義諸家総批判

官僚の井戸端会議(犬丸義一、田口富久治他) 永久資本主義論の啓蒙家(見田石介) 善玉・悪玉史観の極めつき(芝原裕自) 鼻もちらならぬカリスマ仮面(内田義彦) 名は体をあらわさず(林直道) 記憶カード式批評の末路(三浦つとも) 私的な、あまりにも私的な(片岡啓治) ブンカ式体操術の宗匠(津村喬) 近代株式会社名譽会長(大塚久雄) 短絡型「革命」教の分会長(D・ケラン) 政治嫌いの政治屋の迷言(大沢正道) ジョンブル風思想の整理学(D・マクレラン) 「万年学生」の書斎の中味(中岡哲郎) 等々



世界同時革命・世界社会主義革命・世界共産主義革命の旗をかかげよ！(上)
内／序章社出版案内

連合赤軍問題の形成の弁証法 坂東国男

日共(革左)川島・渡辺両氏を再批判す(下) 塩見孝也

赤色工作者——タン・マラカ私考(二) 苍野和人

公開論争

水地下金田一京助を糾弾する 橋根直彦

チリにおける革命と反革命(下) 山崎カヲル
——その軍事的諸契機に関して

プロレタリア文化大革命の原像(二) 渡辺保男

赤色工作者——タン・マラカ私考(二) 苍野和人

109

225

188

173

307

292

248

270

108

129

160

97

102

8

赤旗

16号

(冬・春季合併号)



PFLP日本人医療隊からの中間報告／宇野価値論批判／
国際共産主義運動の歴史的教訓／ケベック民族解放戦線
からの報告

序章 第十六号 目次

● PFLP日本人医療隊からの中間報告
さあ 戰いはこれからだ 8

●『ラディカル・アメリカ』誌より

ケベック民族解放戦線からの報告 113

共産主義者同盟(RG)・『赤報』編集委員会

宇野「価値論」批判(三) 35

榎原 均

国際共産主義運動の歴史的教訓(四) 73

●高原浩之

我々の党綱領について——骨格と論争点と課題 170

●伊万里 治

世界同時革命・世界社会主義革命・世界
共産主義革命の旗をかかげよ(下) 199

●共産主義者同盟蜂起派

資本主義批判と我々の立場——榎原「宇野
経済学批判」を批判する 212

地下水道

釜ヶ崎共闘会議

人民ただ人民のみが歴史を動かす原動力である 186

●山崎カヲル

チリにおける革命と反革命 232

「魔女狩り」に関する若干の考察 197